

様式1 道民意見提出手続の意見募集結果(子ども関係)

「北海道医療計画」の意見ぼしゅうの結果(子ども向け)

令和6年2月29日

実施期間	令和5年12月5日から令和6年1月5日まで
回答数	23人

1 回答者の年代

【質問】年代をおこたえください。

区分	人数	割合
小学生	8人	34.8%
中学生	4人	17.4%
高校生	10人	43.5%
その他	1人	4.3%
合計	23人	-

2 【がん】がんの予防について

【質問】がんにならないように、より多くの人にがん検診をうけてもらうためには、どのようなことをするのがいいと思いますか？

区分	ポスターやリーフレット、イベント	しんぶんやテレビ、ラジオ	YouTube	学校で、がんについて勉強する時間を作る	わからない
小学生 (割合)	0人 0.0%	3人 37.5%	2人 25.0%	3人 37.5%	0人 0.0%
中学生 (割合)	2人 50.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 50.0%	0人 0.0%
高校生 (割合)	1人 10.0%	0人 0.0%	1人 10.0%	7人 70.0%	1人 10.0%
その他 (割合)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 10.0%
合計 (割合)	3人 13.0%	3人 13.0%	3人 13.0%	12人 52.2%	2人 8.7%

みなさんの意見	がんにならないように、より多くの人にがん検診をうけてもらうためには、どのようなことをするのがいいかの質問に対し、「学校で、がんについて勉強する時間を作る」という意見が一番多いことがわかりました。
意見の反映	医療計画とは別に策定する北海道がん対策推進計画(がんになったり、がんで亡くなる人を減らすための取組をまとめたもの)に、学校の授業の中で、がんについて学ぶことを記載しています。

3 【脳卒中】脳の病気の予防について

【質問】脳の病気にならないためには、どのようなことに気をつけるといいと思いますか？

区分	塩をとりすぎないようにする	お酒を飲みすぎないようにする	タバコのけむりをなるべくすわないようにする	たまに運動をする	わからない
小学生 (割合)	0人 0.0%	4人 50.0%	3人 37.5%	0人 0.0%	1人 12.5%
中学生 (割合)	2人 50.0%	0人 0.0%	1人 25.0%	1人 25.0%	0人 0.0%
高校生 (割合)	2人 20.0%	5人 50.0%	0人 0.0%	3人 30.0%	0人 0.0%
その他 (割合)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 10.0%
合計 (割合)	4人 17.4%	9人 39.1%	4人 17.4%	4人 17.4%	2人 8.7%

みなさんの意見	「お酒の飲みすぎないようにする」と答えた人が一番多かったです。
意見の反映	みなさんからの意見を参考にして、道民の皆さんへ脳の病気に関する知識や情報を伝える事業を行っていきます。

4 【心筋梗塞】心臓の病気の予防について

【質問】心臓の病気にならないためには、どのようなことに気をつけるといいと思いますか？

区分	塩をとりすぎないようにする	お酒を飲み過ぎないようにする	タバコのけむりをなるべくすわないようにする	たまに運動をする	わからない
小学生 (割合)	1人 12.5%	1人 12.5%	4人 50.0%	2人 25.0%	0人 0.0%
中学生 (割合)	1人 25.0%	1人 25.0%	0人 0.0%	2人 50.0%	0人 0.0%
高校生 (割合)	2人 20.0%	2人 20.0%	2人 20.0%	4人 40.0%	0人 0.0%
その他 (割合)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 10.0%
合計 (割合)	4人 17.4%	4人 17.4%	6人 26.1%	8人 34.8%	1人 4.3%

みなさんの意見	「たまに運動をする」と答えた人が一番多かったです。
意見の反映	みなさんからの意見を参考にして、道民の皆さんへ心臓の病気に関する知識や情報を伝える事業を行います。

5 【糖尿病】糖尿病の予防について

【質問】糖尿病にならないようにするためには、まいにち、どのような生活をするのがいいと思いますか？

区分	1日3食をきちんと食べる	ジュースやおかしを食べすぎない	運動をする	早寝早起きをする	わからない
小学生 (割合)	2人 25.0%	3人 37.5%	2人 25.0%	1人 12.5%	0人 0.0%
中学生 (割合)	1人 25.0%	2人 50.0%	1人 25.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
高校生 (割合)	1人 10.0%	6人 60.0%	3人 30.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他 (割合)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 10.0%
合計 (割合)	4人 17.4%	11人 47.8%	6人 26.1%	1人 4.3%	1人 4.3%

みなさんの意見	「ジュースやおかしを食べすぎない」と答えた人が一番多かったです。
意見の反映	みなさんからの意見を参考にして、道民の皆さんへ糖尿病を予防するための知識や情報を伝える事業を行います。

6 【精神疾患】心の病気について

【質問】あなたが不安なことや、なやんでいることがあるときには、だれに相談しますか？一番、相談しやすい人やものをえらんでください。

区分	親やきょうだいなどの家族	ともだち	学校の先生	インターネットやSNS、電話相談	わからない
小学生 (割合)	7人 87.5%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 12.5%
中学生 (割合)	0人 0.0%	2人 50.0%	1人 25.0%	0人 0.0%	1人 25.0%
高校生 (割合)	9人 90.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 10.0%
その他 (割合)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 10.0%
合計 (割合)	16人 69.6%	2人 8.7%	1人 4.3%	0人 0.0%	4人 17.4%

みなさんの意見	「親やきょうだいなどの家族」に相談しやすいと思っている人が多いことがわかりました。
意見の反映	北海道が行う、悩んでいる人を手助けする人を増やす取組に、親やきょうだいなどの家族に参加してもらえるようにします。

7 【救急医療】とつぜんのケガや病気になったときの医療について

【質問】 救急車の正しい利用方法について、みなさんにわかりやすくお知らせするためには、どのようにすればいいと思いますか？

くぶん 区分	しんぶん こうこく 新聞や広告などでお 知らせする	YouTubeやXでお知ら せする	テレビCMでお知らせ する	ほっかいどう 北海道のホームペー ジでお知らせする	わからない
小学生 (割合)	0人 0.0%	3人 37.5%	5人 62.5%	0人 0.0%	0人 0.0%
中学生 (割合)	1人 25.0%	0人 0.0%	3人 75.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
高校生 (割合)	5人 50.0%	0人 0.0%	3人 30.0%	1人 10.0%	1人 10.0%
その他 (割合)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 10.0%
合計 (割合)	6人 26.1%	3人 13.0%	11人 47.8%	1人 4.3%	2人 8.7%

みなさんの意見	「テレビCMでお知らせする」、「新聞や広告などでお知らせする」ことがよいと思っている人が多いことがわかりました。
意見の反映	みなさんからの意見を参考にして、救急車の正しい利用方法のわかりやすくお知らせする手段について、メディアを活用した効果的なお知らせ方法に今後も取り組みます。

8 【災害医療】地震などの災害でケガをした人への医療について

【質問】 災害がおきたときのために、ふだんからやっておくといっておもうことはどれだと思いますか？

くぶん 区分	びょういんどうし きょうりやく 病院同士で協力する ように話しあっておく	びょういん たてもの じしん 病院の建物を地震な どでこわれないように 強くする	さいがい 災害がおきたところ に行って、ケガをした人 を治療するチームを ふやす	びょういん 病院がどれくらい被 害をうけたかをまわり の人に教えることが できるようにする	わからない
小学生 (割合)	4人 50.0%	1人 12.5%	2人 25.0%	1人 12.5%	0人 0.0%
中学生 (割合)	1人 25.0%	1人 25.0%	2人 50.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
高校生 (割合)	4人 40.0%	2人 20.0%	3人 30.0%	0人 0.0%	1人 10.0%
その他 (割合)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 10.0%
合計 (割合)	9人 39.1%	4人 17.4%	7人 30.4%	1人 4.3%	2人 8.7%

みなさんの意見	「病院同士で協力するように話しあっておく」、「災害がおきたところに行って、ケガをした人を治療するチームをふやす」ことがよいと思っている人が多いことがわかりました。
意見の反映	みなさんからの意見を参考にして病院同士が話し合う会議や、災害がおきたところでケガをした人を治療するチームをふやすための研修を行います。

9 【新興感染症】新型コロナウイルス感染症のような新しい感染症がおきたときの医療について

【質問】 新しい感染症が発生したときのために、どのような準備をしておくといっておもうと思いますか？

くぶん 区分	かんせんしょう 感染症がひろがった ときに、かかることが できる病院をふやす	かんせん マスクなど感染をふ せぐための防護具が 不足しないようにして おく	かんせんしょう しんさつ 感染症を診察できる お医者さんなどが、ほ かの病院に行って診 察	かんせんしょう 感染症にかかわる人 たちに、ふだんから研 修や訓練をする	わからない
小学生 (割合)	4人 50.0%	3人 37.5%	1人 12.5%	0人 0.0%	0人 0.0%
中学生 (割合)	1人 25.0%	2人 50.0%	1人 25.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
高校生 (割合)	4人 40.0%	3人 30.0%	0人 0.0%	2人 20.0%	1人 10.0%
その他 (割合)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 10.0%
合計 (割合)	9人 39.1%	8人 34.8%	2人 8.7%	2人 8.7%	2人 8.7%

みなさんの意見	「感染症がひろがったときに、かかることができる病院をふやす」、「マスクなど感染をふせぐための防護具が不足しないようにしておく」ことがいいと思っている人が多いことがわかりました。
意見の反映	新しい感染症が発生したときに、「速やかに入院や外来受診ができるよう、病院などと話し合い、約束をしておく」、「マスクなど感染をふせぐための防護具が不足しないよう、確保しておく」など、ふだんから計画的に準備をしていきます。

10 【へき地医療】へき地(住んでいる人が少なく、近くに診療所などが無いところ)などでの医療について

【質問】へき地に住んでいる人がお医者さんにみてもらえるようにするためには、どのようなことをすればいいと思いますか？

区分	診療所をつくる	遠くにある病院のお医者さんが診察に来てくれる場所や回数をふやす	遠くにある病院に行くときにバスでおくつてあげる	ひとりでいろいろな病気をみることができお医者さんをふやす	わからない
小学生 (割合)	5人 62.5%	2人 25.0%	0人 0.0%	1人 12.5%	0人 0.0%
中学生 (割合)	3人 75.0%	0人 0.0%	1人 25.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
高校生 (割合)	4人 40.0%	4人 40.0%	0人 0.0%	1人 10.0%	1人 10.0%
その他 (割合)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 10.0%
合計 (割合)	12人 52.2%	6人 26.1%	1人 4.3%	2人 8.7%	2人 8.7%

みなさんの意見	「診療所をつくる」、「遠くにある病院のお医者さんが診察に来てくれる場所や回数をふやす」ことがよいと思っている人が多いことがわかりました。
意見の反映	みなさんからの意見を参考にして、「診療所をつくる」ときや「遠くの病院のお医者さんが診察に来てくれる場所や回数をふやしてくれる」ときに北海道が手助けする取組をこれからも続けていきます。

11 【周産期医療】妊娠した人や赤ちゃんへの医療について

【質問】赤ちゃんを産むことができる病院などが少なくなってきましたが、お母さんが赤ちゃんを安全に産めるようにするために、たいせつなことはどれだと思いますか？(複数選択可)

区分	病院などで赤ちゃんを産めるようにするにはお金がかかるので、必要なお金をだしてあげる	産婦人科医(せんもんのお医者さん)をふやす	大きな病院が、お医者さんの少ない小さな病院を手伝ってあげる	せんもんのお医者さんや看護師さんなどに、たくさん勉強してもらえようにする	わからない
小学生 (割合)	5人 62.5%	8人 100.0%	7人 87.5%	2人 25.0%	1人 12.5%
中学生 (割合)	3人 75.0%	3人 75.0%	2人 50.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
高校生 (割合)	7人 70.0%	1人 10.0%	3人 30.0%	0人 0.0%	2人 20.0%
その他 (割合)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 10.0%
合計 (割合)	15人 65.2%	12人 52.2%	12人 52.2%	2人 8.7%	4人 17.4%

みなさんの意見	「病院などで赤ちゃんを産めるようにするために、必要なお金をだしてあげる」、「産婦人科医をふやす」、「大きな病院が、お医者さんの少ない小さな病院を手伝ってあげる」ことがよいと思っている人が多いことがわかりました。
意見の反映	みなさんからの意見を参考にして、赤ちゃんが産める病院へ必要なお金をだし、産婦人科医をふやしたり、大きな病院が小さい病院を手伝うことに取り組みます。

12 【小児医療】子どもの医療について

【質問】子どもが夜中にケガをしたときや、ぐあいがわるくなったときのために、どのようなことをしておくべきだと思いますか？(複数選択可)

区分	夜中にみてる、せんもんのお医者さん(小児科医)をふやす	おうちでできることを電話で教えてもらう	おうちでできることをホームページなどでお知らせする	わからない
小学生 (割合)	7人 87.5%	5人 62.5%	5人 62.5%	0人 0.0%
中学生 (割合)	4人 100.0%	2人 50.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
高校生 (割合)	7人 70.0%	2人 20.0%	1人 10.0%	2人 20.0%
その他 (割合)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 10.0%
合計 (割合)	18人 78.3%	9人 39.1%	6人 26.1%	3人 13.0%

みなさんの意見	「夜中にみてる、せんもんのお医者さん(小児科医)をふやす」ことがよいと思っている人が多いことがわかりました。
意見の反映	みなさんからの意見を参考にして、子どもが夜中にケガをしたり、ぐあいがわるくなったときにみてるお医者さん(小児科医)をふやすことに取り組みます。

13 【在宅医療】病院からお医者さんや看護師さんなどがおうちまで来て、治療をすることについて

【質問】病気やケガをしている人が、おうちでお医者さんにみてもらえるようにするには、どのようなことをするのがいいと思いますか？

区分	すぐにおうちに来てくれるお医者さんや看護師さんなどがいる病院をふやす	おうちで病気やケガをみてるお医者さんをふやす	おうち(病院には行かずに)、ビデオ通話などで病院にいるお医者さんに痛いところをみてもらえるようにする	治療のあとに、薬剤師さんがおうちまで薬をとどけてくれるようにする	わからない
小学生 (割合)	7人 87.5%	0人 0.0%	1人 12.5%	0人 0.0%	0人 0.0%
中学生 (割合)	1人 25.0%	1人 25.0%	2人 50.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
高校生 (割合)	4人 40.0%	3人 30.0%	1人 10.0%	1人 10.0%	1人 10.0%
その他 (割合)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 10.0%
合計 (割合)	12人 52.2%	4人 17.4%	4人 17.4%	1人 4.3%	2人 8.7%

みなさんの意見	「すぐにおうちに来てくれるお医者さんや看護師さんなどがいる病院をふやす」が半分をこえ、多くの人が在宅医療についてすぐにお医者さんなどにみてもらえることが重要だと思っていることがわかりました。
意見の反映	みなさんからの意見を参考にして、北海道が行っている在宅医療の体制づくりに関する事業について、これからも在宅医療を行うお医者さんを育てたり増やしたりする取組を行うようにします。

14 【医師確保】お医者さんをふやすことについて

【質問】お医者さんをふやすためには、どのようなことをすればいいと思いますか？

区分	学校の授業でお医者さんの仕事について勉強する時間をつくる	お医者さんがはたらきやすいようにして、やめてしまう人を少なくする	北海道のいいところをPRして、東京などいろいろなところから北海道に来てもらう	お医者さんになりたい学生にむけて、SNSなどで北海道にある病院で勉強するための情報をお知らせする	わからない
小学生 (割合)	2人 25.0%	3人 37.5%	1人 12.5%	2人 25.0%	0人 0.0%
中学生 (割合)	1人 25.0%	1人 25.0%	1人 25.0%	1人 25.0%	0人 0.0%
高校生 (割合)	3人 30.0%	4人 40.0%	0人 0.0%	2人 20.0%	1人 10.0%
その他 (割合)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 10.0%
合計 (割合)	6人 26.1%	8人 34.8%	2人 8.7%	5人 21.7%	2人 8.7%

みなさんの意見	「はたらきやすいようにして、やめてしまう人を少なくする」ことや「学校の授業でお医者さんの仕事について勉強する時間をつくる」ことがお医者さんをふやすためによいと思っている人が多いことがわかりました。
意見の反映	みなさんからの意見を参考にして、お医者さんがはたらきやすくなるように病院と相談したり、お医者さんのことを勉強できるように学校と協力していきます。

15 【外来医療】カゼをひいたときなどに、入院せずに病院などに行ってみてもらうことについて

【質問】 体の中をくわしく調べることができる、とくべつな医療機器などがある病院や診療所をみなさんにわかりやすくお知らせするためには、どのようなことをすればいいと思いますか？

くぶん区分	SNSなどでお知らせする	ホームページでお知らせする	ポスターやリーフレットをつくり、病院の壁にはってお知らせする	わからない
小学生 (割合)	5人 62.5%	0人 0.0%	1人 12.5%	2人 25.0%
中学生 (割合)	1人 25.0%	0人 0.0%	3人 75.0%	0人 0.0%
高校生 (割合)	4人 40.0%	3人 30.0%	0人 0.0%	3人 30.0%
その他 (割合)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 10.0%
合計 (割合)	10人 43.5%	3人 13.0%	4人 17.4%	6人 26.1%

みなさんの意見	「SNSなどでお知らせする」と「ホームページでお知らせする」で全体の半分以上を超える回答がありました。
意見の反映	みなさんからの意見を参考にして、北海道が作っているSNSやホームページ(インターネット)を使いながら、わかりやすくお知らせすることにします。

16 その他について

【質問】 その他に、なにか意見があればおこたえください。

ねんたい年代	いけん意見の内容	いけん意見の反映
中学生	義務教育で病気や医療についても学ぶ機会をつくるのが大切だと思います。高齢者も若い世代の人も情報を得られるようにするべきだと思います。	がんについては、学校で学ぶ機会を増やすよう、取組を進めています。今後は、みなさんの意見を参考にして、若者から高齢者まで情報を得ることができるよう、SNSやホームページ、北海道の広報誌などを活用して、多くの情報を発信していきます。
高校生	病気で入院したことがあるんですが、腹痛で病院へ行きました。腹痛の正体が結局分からない。ストレス性のものだと言われ、とてもショックでした。だから、お医者さんは、もっと患者さんに優しくするべきだと思います。	お近くの保健所には、医療に関する相談窓口が設置されています。病院のお医者さんについて、ご意見や困りごとがあったときに、どのようにしたらよいのかなどの相談を受け付けてますので、ご活用ください。
高校生	卒業後北海道で医師として働く人へ、医学部の学費を北海道がサポートして、北海道で働く医師を増やすシステムを作るといいと思う。へき地の医師の確保も奨学金制度があるといいと思う。	北海道では、将来、お医者さんになって、道内のお医者さんが不足している地域で働こうと思っている学生に対して、医学部の入学料や授業料、生活費を支援する奨学金制度があります。これからも学生が利用しやすい制度になるようにしていきます。